



今号の内容

- ・ 南海レスキュー2024
- ・ 各部隊訓練始め
- ・ 年男・年女の抱負
- ・ 隊員家族投稿（第14後方支援隊）
- ・ キーパーソン（第14特殊武器防護隊）

NANKAI RESCUE 2024

～南海トラフ地震への備え～

発災直後、四国4県に所在する各部隊は速やかに指揮所を開設し司令部との連絡手段を確保（①）するとともに、県との連携を図るため陸・空路により速やかに県庁へ連絡員を派遣（②）、県職員との連携を図りました（③）。並行して車両の点検・補給品の準備（④）など初動準備を整え予想される地域に初動派遣・偵察部隊を派遣（⑤）しました。

第14旅団（旅団長 大場剛陸将補）は、1月13日から17日までの間、四国4県において「南海レスキュー2024」に参加しました。本訓練は、南海トラフ地震が発生し、最大震度7、津波が発生したとの想定の下、孤立地域における発災後の初動対処を焦点に実動訓練を行いました。



地震や津波の被害により道路が寸断され孤立した地域に対して海上自衛隊輸送艦「くにさき」をシーベース（海上の支援拠点）とし、UH-1により重傷者を空輸（①）し艦内で治療しました。さらに、水陸機動団が保有するAAV7（水陸両用車）による海上機動からの救援物資の受け渡し（②）、LCAC（エアクション艇）による瓦礫除去のための油圧ショベルや通信復旧のための通信事業社が保有する衛星通信車などを輸送し（③、④）、ライフラインの復旧等を支援しました。

地震などにより発生した大規模な停電を復旧するため四国電力送配電株式会社の職員及び発電機材をヘリにより空輸する訓練を行いました。また、通信インフラ回復のため通信事業社等の職員・器材の輸送訓練を行いました。

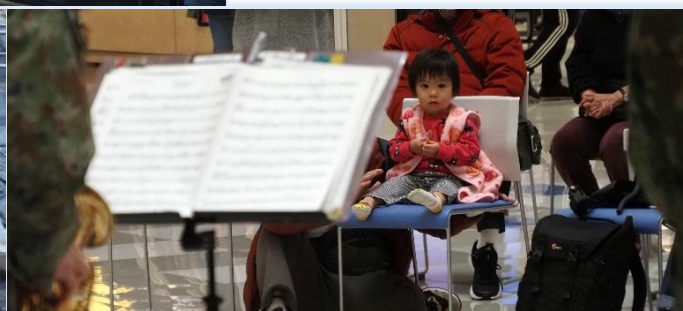
【参加事業社】

四国総合通信局、NTT西日本
NTTドコモ、KDDI
ソフトバンク、楽天モバイル



イオンモール高知の協力のもと、駐車場敷地内において入浴・給食支援を行い来場者に対し野外炊具を使用して豚汁の炊き出しを行うとともに、野外入浴セットを展開し足湯体験を行いました。

また、店舗内で「負けないで」を始めとする過去の災害派遣で慰問演奏を行った際に使用した曲等を披露しました。





実動訓練終了後は、善通寺駐屯地において「四国南海トラフ地震対策戦略会議」で座長を務める香川大学白木渡名誉教授による講演、自衛隊・四国地区の自治体防災担当者・関係機関等による情報発信次いで災害時に自衛隊が使用する装備の研修を行い更なる連携強化を図りました。

過去の教訓から学び、さまざまな分野と密に連携し、いつ起きてもおかしくないといわれる南海トラフ巨大地震に備えるため第14旅団はこれからも「実力の進化」に努めます。



また、本訓練を通して駐屯地や各訓練場所において装備品を見学できる機会を設定し、自衛官という職業や自衛隊の魅力をより多くの方々に感じていただきました。



南海レスキュー

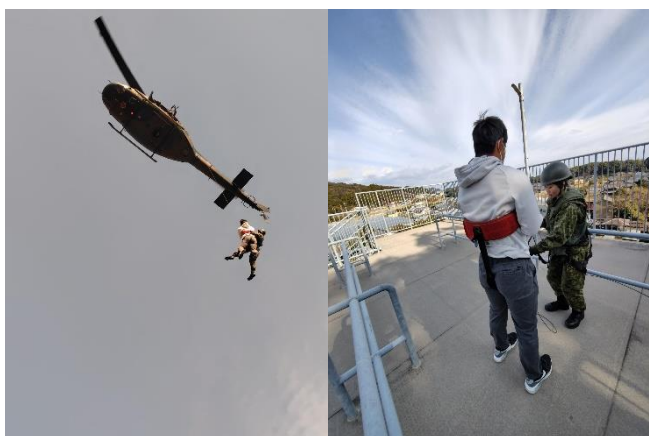
NANKAI RESCUE 2024

女性自衛官の活躍

第14飛行隊は孤立地域における津波避難タワーからのホイスト救助訓練を行いました。

本訓練においてホイスト救助にあたったのは第14飛行隊に所属する南萌夏陸士長です。部隊での練成訓練の経験はあるものの実動訓練としては初めて参加しました。

要救助者は体格差の大きい男性でしたが、しっかりと安定させ、安全にホイスト救助を成功させました。訓練を終え、南士長は「ホイスト救助に力はそこまで必要ありません。ヘリに近くなるにつれ風の影響により要救助者がヘリに接触してしまう恐れがあるため他の男性隊員よりもしっかりとおさえて真っ直ぐ上げられるよう意識しています。」と答えてくれました。



本州四国連絡高速道路株式会社との 確認書締結式

第14旅団と本州四国連絡高速道路株式会社坂出管理センター、しまなみ尾道管理センター、しまなみ今治管理センターは本州と四国を結ぶ瀬戸大橋と西瀬戸自動車道などの高速道路における災害発生時の連携に関する確認書を締結しました。

確認書の締結により災害発生時には被害状況の共有や緊急通行車両の通行路の確保など活動がより円滑・効果的になるよう連携が可能となります。



本州四国連絡高速道路今治管理センター研修施設において中央分離ワイヤーロープの開放訓練を行いました！

隊員の緊急登庁を支援

災害発生時、直ちに登庁しなければならない全隊員に対して、預け先の無い子供を駐屯地内の施設において預けることができる家族支援が利用できます。ここでは駐屯地の施設で保育に係る講習等を受けた隊員が面倒を見てください。

今回の訓練でも駐屯地に託児所を開設しいざという時に任務に専念できるよう隊員の緊急登庁を支援する基盤を整えました。



2025年 始動

各部隊は、2025年の訓練の無事と任務完遂を祈願するとともに士気の高揚を図るため各部隊趣向を凝らした「訓練始め」を行いました。

第14旅団司令部 旅団長 大場剛陸将補

第14旅団にちなんだ
14個のサーキットトレーニングとだるまの目入れ



第15即応機動連隊 連隊長 徳淵文雄 1等陸佐



第50普通科連隊 連隊長 水関謙作 1等陸佐



高知駐屯地での持久走及び記念撮影

第14後方支援隊 隊長 渡邊修 1等陸佐

中隊対抗綱引き大会



第14偵察隊 隊長 神品秀雄 2等陸佐

安全祈願及び香色山走



第14情報隊 隊長 濱田安彦 2等陸佐

隊長よる2025年情報隊への目標発表



第14高射特科隊 隊長 渡辺大嗣 2等陸佐



災害発生時における初動対応訓練



第14飛行隊 隊長 桑原正之 1等陸佐

徳島分屯地での持続走



第14施設隊 隊長 吉田正幸 2等陸佐



阿南市内での持続走



第14通信隊

隊長 脇田祐一郎 2等陸佐

隊長による2025年抱負発表



第14特殊武器防護隊

隊長 西原清隆 3等陸佐

南海レスキュー2024での初動対応訓練

第14旅団司令部付隊

隊長 菅貴光 3等陸佐

各勤務班長による勤務班の目標発表及び
隊長による付隊の目標の徹底



第14音楽隊

隊長 平林誠 1等陸尉

音楽まつりに向けた総合練習

年男・年女の抱負

第50普通科連隊
陸士長 上田夕花



新年明けましておめでとうございます。

この機会に私の24年を振り返ってみると、あっという間だった様に思います。気付いてみれば自衛官になってから早3年が経ちました。

前回の巳年は12歳でした。その頃は私が自衛官になるとは想像もつきませんでした。現在の環境にはこれまで感じる事が無かった刺激を感じています。まだ学ぶことが沢山あり、周りの方に頼ってしまうことも多々ありますが、蛇の様に脱皮という成長を繰り返し新しい挑戦と共に新しい自分に出会える様な1年にしたいと思います。

第15即応機動連隊
3等陸曹 吉岡篤史



新年明けましておめでとうございます。

本年の干支『巳』は古来より縁起の良いものとされています。蛇は脱皮を繰り返す度に大きく成長することから「再生・変革」の象徴とみられていたそうですが、私も今年は変革の1年になると感じています。本記事を執筆時点での合否は不明ですが、昨年私はある試験に挑戦しました。合格すれば私生活も含めてライフスタイルが大きく変化することになりますが、環境の変化が自分を成長させると考えています。

変化することはとてもストレスのかかることですが、小さな山より大きな山。容易い山より困難な山。誰もが怖気づいて二の足を踏むような難攻不落の山に挑んでこそ、大きな成長を感じることができると思っています。新たな環境に身を置く「脱皮」を本年の抱負として挑戦していきたいと思います。

(編集者注：幹部候補生試験に見事合格しました！)

第14後方支援隊
陸士長 上坂瑠唯



新年あけましておめでとうございます。

私は今年の2月で24歳になり、2回目の年女を迎えます。

今年の抱負は、陸曹候補生試験に合格することです。

隊員としてはまだまだ未熟な点が多々ありますが、様々な事に積極的に取り組んでいきたいです。昨年は、周りの方々のたくさんの支えがありました。その感謝に対して恩返しできるように日々精進し必ず陸曹になれるよう、全力で頑張ります。

第14偵察隊
3等陸曹 本田義幸



明けましておめでとうございます。

今年で3回目の年男を無事に迎えることが出来ました。これも第14偵察隊の皆様のおかげであることに感謝し、精一杯頑張っていきたいと思います。

第14偵察隊に配属されてから約5年になりますが、これからも一生懸命頑張っていき、「脱皮して似て大蛇と成る」ことが出来るように精進していきたいです。

第14高射特科隊
陸士長 三根悠哉



新年明けましておめでとうございます。
年男として迎えるこの年、更に強くなりなやかに成長していきたいと思います。
私の座右の銘は、「疾風勁草（しっふうけいそう）」です。強風の中でもしなやかに生き抜く草のようにどんな逆境にも屈せず、揺るがない強さを持ちながら柔軟に対応する姿勢を大切にしていきます。今年もしっかりと根を張り成長出来る年にします。
今年もどうぞ宜しくお願い致します。

第14情報隊
2等陸曹 木村優太



皆様、お疲れ様です。今年人生3度目の年男を迎えることができました。
これは皆様と家族のご協力のおかげと思っています。
令和5年3月、第50普通科連隊より転入してから約2年が経ち、現在は情報処理に係る隊員の運用統制、スケジュール管理業務をしています。不慣れなことばかりですが、やりがいのある職務だと思っています。また、巳年の蛇ですが、脱皮を繰り返すことから、「再生」・「新たな始まり」のシンボルともされてます。私も今年はひと皮むけて新たなことに挑戦できるよう努力したいです。
最後になりますが、今年1年、隊員・家族が健康に過ごせるように願ってます。

第14施設隊
3等陸曹 大原涼子



明けましておめでとうございます。
私の年女の抱負は一言でいうと『挑戦』です。私は昨年、3等陸曹へ昇任し、施設学校や、ラップ教育、大型操輪操縦教育へ入校しました。それぞれの教育で新しいことを学び、勤務の幅を広げることができたと思います。今年はその学んだ知識と技術を活かし、一つでも多くのことに『挑戦』する年にしていきたいです。また、教育を通じ得た経験を後輩隊員の育成にも活かしていきたいと思います。
第14旅団の皆様、今年もよろしくお願いいたします。

第14飛行隊
1等陸曹 安藤文雄



今年で4回目の年男を迎え、自身の老化が加速して至る所に不具合を抱え込んだ昨今ですが、同年代の方々はいかがお過ごしでしょうか？
抱負については特に決めずに今日に至り、今更とは思いますが、今回の寄稿の機会を受け、一つ考えてみました。（普段何も考えていない為、生みの苦しみを味わいました。）ズバリ「育成」。今まで色々な育成をしてきましたが、ゲームでは運用に行き詰まり、生物では行方知らずになったり、人材においては言わずもがな。一方子育てについては「父親面するな」と妻からお叱りを受けるので割愛します。故にやれることは自分の寂しい頭でも日々育成しようかと思っています・・・。とは言うものの、整備班の前任陸曹として、一念発起し、飛行隊の整備員の「育成」にこれまで以上により一層寄与することを目標に尽力します。

第14特殊武器防護隊
3等陸尉 山口翔太



新年あけましておめでとうございます。2度目の年男を迎えるにあたり、今年の抱負を「蓄積」としました。

成人を過ぎて4年がたった今、私は勤務歴が短くまだまだなので、未熟なので一つ一つの経験を積み重ねて実力として蓄えいけるように精進します。

私生活では、小さな節約を心がけます。さて、今年の干支である蛇は脱皮を繰り返すことから復活や再生といった生命力の象徴とされています。皆様におかれましても健やかな1年となるようお願いしています。

第14通信隊
陸士長 櫛田 光玖



家族と地元岡山にある日本原駐屯地でのイベントで幹部自衛官の方と満面の笑みで敬礼して写真を撮った当時12歳の私。10年後、自分自身も迷彩服に身をつつみ部隊に身を置くことになるとは想像もつきませんでした。

気も弱く、内向的だった私が自衛隊に入隊して3年。日々の課業の中で体力・精神力を向上し、何事にも前向きに取り組む力が身につきました。現在は、陸曹を目指し、日々の勉強に加え国際情勢の知識を深めています。

私が、人として成長することができたのは自衛隊という組織と互いに切磋琢磨し合える仲間達のお陰です。

今年は、身体と思考を更に鍛え有事の際は即戦力となり、部隊に貢献できるよう鋭意努力いたします。

第14旅団司令部付隊
陸曹長 飯干俊幸



新年おめでとうございます。

私は今年で4度目の年男を迎えました。

昨年は職務においては業務の更なる円滑化に挑戦し、家庭においては娘と息子が就職して1年が経過し子供たちの成長を肌で感じることができ、不安と喜びが重なり合った1年でした。

この1年は、私にとって「上司、同僚との連携」「組織、家庭における立場」等、多くの経験と知識を与えてくれました。

職務、私生活において困難なこともありましたが、家族・上司・同僚に支えられ、自身の成長に繋げることができたと思います。

このため、今年は「発展」の年にしたいと考えています。

私は今まで大変多くの方々に支えられて今の自分があると考えております。その気持ちを忘れることなく胸に刻んで、周りの方の期待に応えられるよう頑張りたいと思います。

また、これまで自分を支えてくれた子供、妻への感謝を忘れることなく、日々精進していきたいと思えます。

第14音楽隊
2等陸曹 角田梨沙



2025年の抱負は「感謝」です。

自衛隊に入隊して12年。自衛官としての今の私がいるのはひとえに、関わって下さった皆様のおかげです。毎日の仕事、家事・育児に追われつつ相手に「感謝」する事を忘れがちになってしまいます。なので、2025年は大小さまざまな「感謝」の気持ちを振り返る時間を取り支えてくれる家族、上司や部下、利用できるサービスやサポート等々他人が自分の為に払ってくれた犠牲や貢献があつてこそ、任務に邁進出来る事を忘れないようにしたいと思います。

そして私も誰かの支えになれる様、成長していきたいと思えます。

本年もご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

「子供のちから」

第14後方支援隊

3等陸曹

山野 宝花

今年の8月に復職し育児休暇中とはうって変わって育児と家事、仕事の両立が突然始まりました。その生活は想像をはるかに超える大変さでした。朝起きる時間も1時間ほど早くなり、寝たいときに寝れず、家事もしたいときにできずと、今までの生活とは180度変わりました。育児、家事、仕事の両立はパートナーの協力なくしてはこなせるものではないと思います。しっかりと話し合い、伝え方に気をつけながら日々の生活を送ってはいるつもりですがお互いに余裕がない時には腹が立つこともありぶつかり合うことも多々あります。

そんな生活ではありますが、わが子の成長はとても感慨深いです。昨日までできなかったことが今日はできるようになり、話せなかったことが話せるようになったりと毎日違う表情を見せてくれて、いくら仕事で疲れていても、嫌なことがあっても子供の顔をみるとすべて吹き飛びます。今後成長していく過程で多々いろんな壁に直面するとは思いますが家族で乗り切っていきたいと思っています。今後成長していくわが子を見るのが楽しみです。



見えない敵から守る

KEYPERSON
14th Brigade

核兵器・生物兵器・化学兵器など目には見えない脅威に対応する化学科部隊。今回は、第14特殊武器防護隊で化学陸曹として活躍する藤本3曹にスポットを当てていきます。

藤本3曹に聞きました！
日頃どのようなお仕事をされていますか？

私は、第14特殊武器防護隊で化学陸曹として地域の除染はもちろん各部隊が汚染された際には速やかに除染を実施したり、災害が起こった際には防疫活動を行うことを主な任務として日々練成に取り組んでいます。

周りの方に聞きました！
藤本3曹はどんな人ですか？

藤本3曹はとても後輩思いで陸士や新隊員の面倒をよく見てくれます。普段はお茶目な所もありますが、仕事とプライベートの切り替えが上手でとても頼りになります。仕事では、副班長として班長を補佐しつつ班員にも的確な指示を与えて任務遂行に大きく貢献しています。

その他にも藤本3曹は趣味のキャンプや駆け足といったアウトドアが大好きです。週末になれば後輩をよく遊びに連れて行ったり、仕事で分からないことがあれば藤本3曹に聞くなどいつでもたよりになります。

第14特殊武器防護隊 高塚3曹

第14特殊武器防護隊で勤務する隊員は陸曹になると埼玉県にある化学学校へ入校し、陸曹として必要な資質の涵養及び化学陸曹として必要な知識と技能を修得します。特に偵察行動や班行動における指揮要領を学びます。藤本3曹は副班長として班長の補佐を行いつつ、操縦手として除染車を運用するなど第14特殊武器防護隊の任務達成に大きく貢献しています。



隊員紹介

部隊 ▶ 第14特殊武器防護隊
氏名 ▶ 藤本 零(ふじもと れい)
出身 ▶ 北海道
趣味 ▶ キャンプ・駆け足
特技 ▶ スキー





第14旅団ホームページが新しくなりました！

新着情報

2024.12.20
旅団ホームページをリニューアルしました。

ピックアップ

活動状況
第14旅団
活動状況を更新しました。

各コンテンツ紹介

旅団紹介
旅団紹介
更新日：2024.12.20

旅団長紹介
旅団長紹介
更新日：2024.12.20

イベント情報
イベント情報
更新日：2024.12.20

フォトギャラリー
フォトギャラリー
更新日：2024.12.20

リンク集
リンク集
更新日：2024.12.20

活動状況
活動状況
更新日：2024.12.20

広報誌しこく
広報誌しこく
更新日：2024.12.20

アクセス
アクセス
更新日：2024.12.20

サイドポリシー
サイドポリシー
更新日：2024.12.20

4
24年12月20日 第14旅団広報課
0092

この度、第14旅団公式ホームページが新しくなりました！
これからも活動状況等積極的に発信していきます♪
他にもSNS(X、フェイスブック)も更新しておりますのでフォロー&コメントよろしくお願いします！



HP



X



Facebook

第14旅団

検索

四国内 イベントスケジュール

第14旅団は、様々なイベントに装備品展示や音楽演奏などで参加しています！
皆様のご来場お待ちしております♪

2/1

ゆめタウン徳島

ゆめタウン徳島で音楽隊のステージ演奏と第15即応機動連隊の装備品展示を行います🚗🎵

3/23

本町コミュニティ オープニングイベント

本町コミュニティセンターで第15即応機動連隊が装備品展示を行います！🍷

3/9

観音寺こども食堂 防災イベント

観音寺市民会館（ハイスタッフホール）で第14後方支援隊がカレーの炊き出しを行います🍲

3/30

こども食堂を広める イベント

坂出しまむら北側駐車場付近で第14後方支援隊がカレーの炊き出しを行います🍲

3/9

宇和島防災フェス

宇和島市学習交流センターパフィオうわじまで第14高射特科隊が装備品展示を行います。🚗

色の内訳（開催県）

- ・青：徳島県
- ・緑：香川県
- ・オレンジ：愛媛県
- ・赤：高知県

※ 急遽変更となる場合がございます。ご了承ください。

令和6年度 第14旅団音楽まつり

14th Brigade Annual Music Festival



HARMONY / in / COLOR



旅団唯一の音楽科部隊が年に1度の大祭りを開催！！
高度な演奏技術はもちろん第14音楽隊の色鮮やかなアレンジ
を加えた楽しい演出が盛りだくさん♪
例年、高い支持を得る善通寺十五聯太鼓・土佐50連龍馬太鼓
が今年も躍動します！！



**応募締め切りは
2月7日です！
お早めに！！**



2025
3. **1** (土)

会場：レクザムホール(香川県県民ホール)

入場無料(入場券が必要になります)

開場 / 12:30 開演 / 13:30

終演 / 15:30

応募要領

お申込みは、インターネットのみとなります。

14りょだん

検索



詳しくは、14旅団ホームページで！
QRコードからもご覧になれます。



応募にあたっての注意事項

- ・応募はインターネットからのみとなり、応募者多数の場合は抽選をいたします。
- ・応募は一人1回までといたします。
- ・応募者1名に対し同伴者の申し込みは1名といたします。
- ・当選者の発表は、チケットの発送をもって代えさせていただきます。
- ・発熱等、体調不良の場合は、ご来場をお控えください。
- ・未就学児のご来場は、ご遠慮ください。
- ・最新の情報は第14旅団ウェブサイト内の特設サイトよりご確認ください。

応募締切：令和7年2月7日(金)



お問い合わせ：第14旅団司令部総務課広報班 Tel (0877) 62-2311 内線 (2256)